



2012-06-13

No.14 (2012 vol. 1)

日本情報科教育学会ニューズレター

Japanese Association for Education of Information Studies

事務局：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2（新陽ビル7階）

TEL：03-5155-7576 FAX：03-5155-7578

E-mail jimu@jaeis.org <http://jaeis.org/>

第5回全国大会の開催にあたり

第5回全国大会実行委員長，香山瑞恵（信州大学）

この度，第5回の全国大会を信州長野市の信州大学工学部で開催する運びとなりました。中部北陸地区では初めての開催となります。長野県の関係者の方々，そして長野県に接する7つの県（新潟県・山梨県・群馬県・埼玉県・静岡県・岐阜県・富山県）の関係者の方々にもあわせてご協力をいただき，準備を進めてまいりました。この場をお借りして，関係者各位に御礼申し上げます。

これまでの全国大会は，第1回を滋賀大学（全国大会実行委員会委員長：松原伸一），第2回を九州工業大学（西野和典），第3回を日本大学（夜久竹夫），そして第4回を畿央大学（西端律子）で開催されております。信州大学で開催する第5回大会では，研究発表として72件（口頭発表57件，ポスタ・デモ発表15件）の論文投稿をいただきました。本大会では，従来のポスタ発表を，ポスタ・デモ発表とその対象を拡大し，発表論文の提出と研究発表の時間帯でのブリーフプレゼンテーションを新たに課すこととしました。情報科教育を支える教材・教具を実際にお示しいただき，来場者に体験してもらうことで，新しい教育方法との出会い・気付きがあることを期待します。

平成11年3月に告示された高等学校学習指導要領に，情報科の内容が初めて盛り込まれました。あれから13年が経とうとしています。情報科教育の成果の継続，またさらなる発展を意識した大会といたく，本テーマを掲げます。成果の継続およびさらなる発展のためには，情報科のみならず，それを取り巻く環境との連携も不可欠です。そこで，副題に「**「横」の連携と「縦」の接続**」という文言を含めました。

なお，ここでの「横」とは，情報科に対する他の教科というような教科間の連携はもちろん，情報科を実践する高校に対する地方公共団体，保護者，地域住民，企業，メディアなど，社会全体の連携をも指しています。また，「縦」は，小・中学校教育，および大学や生涯教育への関係を指しています。

関係各位からのご協力の元，信州の地で情報科教育の“明日”について，大いに語り合いたいと思います。

本号目次

第5回全国大会開催にあたり	1	九州・中国・四国支部総会第2回研究会報告	7
第5回全国大会プログラム	2	近畿北陸支部総会報告	8
第5回全国大会研究発表	3	事務局からの連絡	8

情報科教育の継続と発展

～「横」の連携と「縦」の接続～

開催日：平成24年 6月16日（土）・17日（日）

会場：信州大学・長野(工学)キャンパス 〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1

【アクセス】<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map03.html>

R利用：東京駅から「長野新幹線」に乗車し、終点「長野」で下車（約100分）

長野駅より徒歩約15分、タクシー利用約5分

主催：日本情報科教育学会

共催：信州大学

後援：文部科学省，総務省，長野県教育委員会，長野市教育委員会，埼玉県高等学校情報教育研究会，静岡県高等学校教科「情報」教育研究会，岐阜県高等学校教育研究会情報部会，山梨県高等学校教育研究会情報科部会，全国専門学科「情報科」高等学校長会，全国高等学校情報教育研究会

協賛：日本教育工学会，教育システム情報学会，情報コミュニケーション学会，情報処理学会コンピュータと教育研究会，情報処理学会初等中等教育委員会，電子情報通信学会教育工学研究会

第1日：6月16日（土）

9:20～10:20 研究発表（口頭発表）

10:30～12:10 研究発表（ポスター・デモ発表）

12:10～13:10 （昼休み）理事会・評議会

13:10～13:50 総会

14:00～14:30 基調講演 岡本敏雄（本学会会長・電気通信大学大学院）

14:30～15:30 招待講演 新井孝雄（文部科学省生涯学習政策局参事官）

15:40～17:10 パネル討論1 「情報教育カリキュラムの体系化」

<パネリスト>

- ・永井克昇（文部科学省）小中高校の情報教育カリキュラムの体系化動向
- ・堀田龍也（玉川大学）小学校の情報教育のカリキュラムを中心に
- ・松原伸一（滋賀大学）中学校での情報科設立のロードマップ
- ・中條道雄（関西学院大学）海外の最新の情報教育カリキュラム・標準化

<司会> 西野和典（九州工業大学）

18:30～20:30 懇親会 会場：メルパルク長野

第2日：6月17日（日）

9:30～12:00 研究発表（口頭発表）

12:00～13:00 （昼休み）

13:00～13:45 研究発表（口頭発表）

14:00～14:10 開催校からのご挨拶

14:20～16:20 パネル討論2 「大学入試と情報科 ～大学の最新動向と高校での対策～」

<パネリスト>

- ・萩谷昌巳（東京大学大学院）大学入試での情報科の位置付けへの期待と展望
- ・渡辺博芳（帝京大学）大学入試での情報科筆記試験で測る学力とは
- ・天良和男（東京都立小石川中等教育学校）大学入試が情報科教育に与える影響等について

<指定討論者> 長野県内の4つの高校の関係者

<司会> 岡本敏雄（電気通信大学大学院）

16:30～16:45 クロージング

■参加費

正会員 1000円

（正会員かつ小中高校教職員[要証明書]，および後援組織所属の小中高校教職員[要証明書]は無料）

学生会員 無料

非会員 2000円

6/16(土) 9:20 ~ 10:20 研究発表1 : 口頭発表

1 - A1 : カリキュラム・教材(1) 【会場: A】 座長: 室谷心 (松本大学)

1-A1-1 携帯端末を用いた教育設計 ~明日起きる災害に備え、活用するための情報科教育~

○小河智佳子(東洋大学大学院)

1-A1-2 共通教科情報科の目標の概念チャート図とその利用に関する展望

○浅羽修丈(北九州市立大学), 大倉孝昭(大阪大谷大学), 西野和典(九州工業大学)

1-A1-3 中学校の学習の核として開設する「情報の時間」の実践と成果の報告

○安谷元伸(滋賀大学教育学部附属中学校)

1-A1-4 中学校における情報科の設立を目指す情報学教育の構築と実践

○河野卓也(大津市立志賀中学校)

1 - B1 : 情報倫理とモデル(1) 【会場: B】 座長: 西正明 (信州大学)

1-B1-1 作問演習を用いた情報モラル教育の実践

○梅田恭子(愛知教育大学), 木原悠佑(愛知教育大学), 江島徹郎(愛知教育大学), 野崎浩成(愛知教育大学)

1-B1-2 「社会と情報」で情報社会の法的側面はどこまで扱えるか

○生田研一郎(中央大学杉並高等学校)

1-B1-3 高校の情報モラル教育の課題と実践

○山室公司(大阪府立摂津高等学校)

1 - C1 : 情報科の考察・評価(1) 【会場: C】 座長: 萱津理佳 (長野県短期大学)

1-C1-1 大学生の記述からみた高等学校「情報」の学習定着にかかわる一考察

○波多野和彦(江戸川大学), 中村佐里(ITサポート ありのみ), 山路進(日本私学教育研究所)

1-C1-2 大学1年生を対象とした調査票調査にみる高校情報科の内容と実施状況の影響

○辰己丈夫(東京農工大学), 久野靖(筑波大学), 加藤毅(筑波大学)

1-C1-3 教科「情報」の学習内容と大学における初年次情報リテラシー教育との関連性について

○中鉢直宏(青山学院大学附置情報科学研究センター), 竹内純人(青山学院大学附置情報科学研究センター), 坂田哲人(青山学院大学附置情報科学研究センター)

1-C1-4 アメリカの情報科教育における高大接続・連携の展開

○中條道雄(関西学院大学)

1 - D1 : プログラミング教育(1) 【会場: D】 座長: 芦田和毅 (長野工業高等専門学校)

1-D1-1 S-P表を用いたアルゴリズム的思考法の学習状況の分析

○佐藤亮(信州大学大学院), ○香山瑞恵(信州大学), 伊東一典(信州大学), 橋本昌己(信州大学), 大谷真(信州大学)

1-D1-2 計測学習を取り入れた「プログラムによる計測・制御」の授業案

○稲川孝司(大阪府立東百舌鳥高等学校)

1-D1-3 Arduino 用3Gシールドの開発と教育での実践 - 情報科教育におけるArduinoの活用の意義 -

○天良和男(東京都立小石川中等教育学校), ○高本孝頼(株式会社 タブレイン)

1-D1-4 プログラミング実行環境「ますめ」の開発と高校情報への適用 -PBLにおける学習者ログの詳細な分析を目指して-

○藤岡健史(京都市立西京高等学校), 荻野哲男(神戸大学情報基盤センター), 柳瀬大輔(京都市立堀川高等学校)

6/16(土) 10:30 ~ 11:30 研究発表2 : ポスタ・デモ発表

1 - E2 : ブリーフプレゼンテーション 【会場: E】 座長: 西野和典 (九州工業大学)

1-E2-1 IA Basic Learning Kit: Web制作における情報設計に着目したワークショップキットの試作

○上平崇仁(専修大学), ○香山瑞恵(信州大学)

1-E2-2 初等中等教育向けアルゴリズム学習教材に関する考察

○大山裕(一般社団法人電子情報技術産業協会/日本電気株式会社)

- 1-E2-3 ビジュアル・ブロック・プログラミング可能なアルゴリズム学習向けWEBツール：AlgoTool
○永井孝(信州大学大学院), ○香山瑞恵(信州大学)
- 1-E2-4 5パズル教材を用いたプログラミング指導法について
○村田育也(北海道教育大学), 加藤慎司(北海道教育大学附属旭川中学校)
- 1-E2-5 財務諸表の正誤判定手法の試み
穴田浩一(早稲田大学高等学院), ○安齋公士(関東学園大学), 高加晋司(日本大学), 神藤悠希(日本大学), 夜久竹夫(日本大学)
- 1-E2-6 「計測制御プログラマー」を活用した計測・制御の授業
○稲川孝司(大阪府立東百舌鳥高等学校)
- 1-E2-7 高校生にも容易に独創性のある情報システムを構築できるArduino用3Gシールドの紹介
○高本孝頼(株式会社 タブレイン), ○天良和男(東京都立小石川中等教育学校)
- 1-E2-8 ロボットでの動作シミュレーションが可能なシステムモデリング用Web教材
○香山瑞恵(信州大学), ○部谷修平(九州大学大学院), 永井孝(信州大学大学院), 久住憲嗣(九州大学)
- 1-E2-9 「デジたま講座」教材・教具の開発
○竹田正幸(九州大学), 池田大輔(九州大学), 脇田早苗(九州大学), 池内昌子(九州大学)
- 1-E2-10 情報の符号化のための教材「マジカル・スプーン」のシミュレーション機能の拡張
ーGoogleEarthとの連携によるフライト・シミュレーションー
○永田奈央美(静岡産業大学), ○香山瑞恵(信州大学)
- 1-E2-11 コンピュータを使わないコンピュータ科学の教育「コンピュータサイエンスアンプラグド」とそのアジア各国での実践の紹介
○和田勉(長野大学), ○辰己丈夫(東京農工大学), ○野部緑(大阪府立寝屋川高等学校)
- 1-E2-12 高校および大学における情報倫理教育の接続性
○高橋参吉(帝塚山学院大学)
- 1-E2-13 高大連携による生徒の自主性を伸ばす活動
○河村泰之(愛媛大学), ○八木昌生(愛媛大学附属高等学校)
- 1-E2-14 eポートフォリオシステムMaharaとiPadを活用した中等教育における協同学習型授業モデルの提案
○平田英一郎(東京学芸大学大学院), 森本康彦(東京学芸大学), 永野直(千葉県立袖ヶ浦高等学校), 春日井優(埼玉県立朝霞高等学校/東京学芸大学), 宮寺庸造(東京学芸大学)
- 1-E2-15 “ICT活用”を組織でサポート ～市内小中学校の日常的な授業の共有～
○池田勇(嘉麻市教育センター)

6/16(土) 11:40 ~ 12:10 コアタイム 【会場: D, E, 2F廊下】

6/17(日) 9:30 ~ 10:30 研究発表3 : 口頭発表

2 - A3 : 高大連携 【会場: A】 座長: 布施泉(北海道大学)

2-A3-1 信州大学との高校生研究体験プロジェクトの取り組み

○小栗靖(長野県長野工業高等学校), 國宗永佳(信州大学), 新村正明(信州大学), ○香山瑞恵(信州大学)

2-A3-2 高校教科「情報」を大学生が支援する授業のデザイン

○村上徹(関西中央高等学校), 西端律子(畿央大学)

2-A3-3 高大連携によるメディア教育「メディアを通じた情報の送受信」の実践

○杉浦裕孝(愛知教育大学附属高等学校), 江島徹郎(愛知教育大学), 山田果林(愛知教育大学附属高等学校), 天羽康(愛知教育大学附属高等学校), 増田朋美(愛知教育大学附属高等学校), 山本武寿(愛知教育大学附属高等学校), 青山和宏(愛知教育大学附属高等学校), 寺田直樹(愛知教育大学附属高等学校), 野田正幸(愛知県立豊田南高等学校), 辻麻衣香(愛知県立高浜高等学校)

2-A3-4 高大連携によるメディア教育の実践ーメディアを概観する「タイムマシン」ー

○江島徹郎(愛知教育大学), 横山敏秀(愛知県立幸田高等学校), 鈴木雅子(愛知県立幸田高等学校), 富安伸之(愛知県立豊橋西高等学校), 入川恵(愛知県立一色高等学校), 齋藤ひとみ(愛知教育大学), 梅田恭子(愛知教育大学), 野崎浩成(愛知教育大学)

2 - B3 : 情報倫理とモラル(2) 【会場: B】 座長: 津森伸一(近畿大学九州短期大学)

2-B3-1 情報科教育におけるプライバシーの扱い: 侵害と権利

○江間有沙(京都大学)

2-B3-2 学校・家庭・企業のヒアリングに基づく情報モラル教育に対する取り組み

○永田奈央美(静岡産業大学), 増田洋幸(静岡産業大学), 岡本敏雄(電気通信大学大学院)

2-B3-3 大学生を対象にした高等学校の情報の授業における電子メールのマナーについての学習に関する調査

○立野貴之(松蔭大学), 加藤由樹(相模女子大学), 加藤尚吾(東京女子大学)

2 - D3 : プログラミング教育(2) 【会場: D】 座長: 余田義彦(同志社女子大学)

2-D3-1 スクラッチのプログラミング教育教材としての可能性

○矢野口聡(松本大学松商短期大学部)

2-D3-2 ソフトウェア開発における基礎学習の実践と評価

○坂田圭司(東海大学), 遠藤陵二(東海大学付属浦安高等学校)

2-D3-3 スクイークEtoys等を活用した「情報の科学」の指導の一例

○谷川佳隆(千葉県立船橋芝山高等学校)

2-D3-4 アルゴリズム的思考法のための教育支援ツール利用の試み -高専での2年間の試行に関する考察-

○萱津理佳(長野県短期大学), 香山瑞恵(信州大学), 國宗永佳(信州大学), 不破泰(信州大学総合情報センター), 宮崎敬(長野工業高等専門学校)

6/17(日) 10:45 ~ 12:00 研究発表4 : 口頭発表

2 - A4 : 高校での実践 【会場: A】 座長: 村上徹(関西中央高等学校)

2-A4-1 情報科における言語活動モデルの開発と授業実践

○春日井優(埼玉県立朝霞高等学校/東京学芸大学), 森本康彦(東京学芸大学), 宮寺庸造(東京学芸大学)

2-A4-2 高等学校共通教科情報科で指導する災害発生時の情報伝達に関する学習内容の検討

○伊藤大河(ジェイアール東海情報システム株式会社), 山本利一(埼玉大学), 工藤雄司(茨城大学)

2-A4-3 学校ビオトープを活用したプレゼンテーション授業実践

○赤堀憲吾(静岡県立三島南高等学校)

2-A4-4 アンケートを題材にした情報の授業実践事例

○山下裕司(山口県立岩国高等学校)

2-A4-5 授業改善への試み-授業アンケート・その方法-

○齋藤実(埼玉県立大宮高等学校)

2 - B4 : 教育の情報化 【会場: B】 座長: 立野貴之(松蔭大学)

2-B4-1 Moodleを利用した情報教育の試み

○五月女仁子(神奈川大学)

2-B4-2 携帯メールを使って小レポートを書かせる授業の実践報告

○室谷心(松本大学)

2-B4-3 携帯電話を利用した授業における受講者の傾向について

○岩井憲一(滋賀大学)

2-B4-4 デジタルビデオの制作を通じた学び合い教育の実践

○崔一英(東海大学チャレンジセンター), 岡田工(東海大学チャレンジセンター)

2-B4-5 個人作業と共同作業の両立を目指したインスタレーション製作実習の実践

○高橋等(静岡産業大学)

2 - C4 : 情報科・情報教育の教員養成 【会場: C】 座長: 江島徹郎(愛知教育大学)

2-C4-1 フィリピン情報教育支援に係る現地調査 -フィリピン・タナウアン市の6つの小学校を対象とした情報教育支援活動に関する事業実施可能性調査-

○池田勇(嘉麻市教育センター), 中村星朗(北九州市立大学院), 石田典雅(NPO法人 情報教育支援研究会)

2-C4-2 情報科教師教育のためのWikiの活用-プレゼンテーションを重視した災害支援を例に-

○右島綾香(茨城大学), 本田敏明(茨城大学)

2-C4-3 情報概念とコミュニケーション概念を問い直す: 高等学校情報科教員養成課程における授業プラン

○吉岡有文(立教大学)

2-C4-4 ブレンド型の情報科教育法の授業について2年間における効果の比較

○宮地功(岡山理科大学)

2-C4-5 協働自律学習における学習者の学習に対する意識の変容

○高橋朋子(武庫川女子大学大学院), 望月紫帆(特定非営利活動法人学習開発研究所)

2 - D4 : 口頭発表, プログラミング教育(3) / 科学的な理解(1) 【会場: D】 座長: 坂田圭司 (東海大学)

2-D4-1 PenFlowchartを用いた授業の提案

○中西渉(名古屋高等学校)

2-D4-2 オープンソース・ソフトウェア開発教育の実践とその評価

後藤隆彰(電気通信大学大学院), ○土田賢省(東洋大学), 西野哲朗(電気通信大学大学院)

2-D4-3 公開鍵暗号方式の数学的理解に先立つイメージ的理解のアイデア

○綾皓二郎(石巻専修大学)

2-D4-4 共通教科「情報」を指向したWebデータベース学習教材の提案

○野部緑(大阪府立寝屋川高等学校), 長瀧寛之(岡山大学), 兼宗進(大阪電気通信大学)

6/17(日) 13:00 ~ 13:45 研究発表5 : 口頭発表

2 - A5 : カリキュラム・教材(2) 【会場: A】 座長: 高橋等 (静岡産業大学)

2-A5-1 教材開発の枠組みについて

○高田和典(北海道札幌東陵高等学校)

2-A5-2 e-Learning環境における遠隔学習スキル育成プログラムの開発

○鷹岡亮(山口大学), 霜川正幸(山口大学), 阿濱茂樹(山口大学), 渡辺芳雅(誠英高等学校)

2-A5-3 マンガを用いた情報伝達とコミュニケーションに関する学習の試行

○布施泉(北海道大学), 岡部成玄(北海道大学)

2 - B5 : 支援環境の開発 【会場: B】 座長: 宮地功 (岡山理科大学)

2-B5-1 情報学教育を効果的に進めるための協働学習支援環境

○横山成彦(大阪学院大学高等学校), 松原伸一(滋賀大学)

2-B5-2 情報教育担当教員相互のコミュニケーションサポートを目的とするSNSの活用に関する検討

○津森伸一(近畿大学九州短期大学), 宮井彩乃(近畿大学九州短期大学), 西野和典(九州工業大学)

2-B5-3 多様なメディアを取り込んだポートフォリオ

○西正明(信州大学)

2 - C5 : 情報科の考察・評価(2) 【会場: C】 座長: 春日井優 (埼玉県立朝霞高等学校・東京学芸大学)

2-C5-1 高校・教科「情報」と中学・技術「情報」分野の履修状況と改善策の提案

○切島忠昭(東洋大学), 天良和男(東京都立小石川中等教育学校), 土田賢省(東洋大学)

2-C5-2 保護者から見た教科「情報」の位置付け

○神農剛造(大阪国際大学大学院), 矢島彰(大阪国際大学)

2-C5-3 音声を利用した教育事例の運用と効果

○澁澤健太郎(東洋大学)

2 - D5 : 科学的な理解(2) 【会場: D】 座長: 綾皓二郎 (石巻専修大学)

2-D5-1 情報通信ネットワークの科学的側面に関する教材での学習内容の検討

○村松竜(信州大学大学院), ○香山瑞恵(信州大学), 伊東一典(信州大学), 橋本昌巳(信州大学), 大谷真(信州大学)

2-D5-2 「IPアドレスの計算」学習ソフトの開発(第二報) : 開発

○余田義彦(同志社女子大学)

2-D5-3 マルチメディアで不可逆圧縮を見せる

○室谷心(松本大学)

日本情報科教育学会九州・中国・四国支部事務局長
池田勇（嘉麻市教育センター）

2012年3月20日（祝）13時30分より九州工業大学飯塚キャンパスにて九州・中国・四国支部総会を開催し、40名以上が参加しました。総会では、予算や活動報告、活動計画等が承認されました。続いて、研修会では石田典雅先生（情報教育支援士会）、山下祐司先生（山口県立岩国高等学校）、尋木信一先生（有明高専）、豊瀬仁須先生（田川中学校・ICT活用教育研究会）が授業実践や教員サポート等について論文発表を行いました。その後、近畿北陸支部副支部長の佐藤万寿美先生から中高等学校の情報教育の接続、NHNJapan株式会社取締役付政策担当の高橋誠氏からコミュニティサイトや情報モラル指導について講演を頂きました。講演後は携帯電話のモラルやセキュリティに関する指導方法等について活発な意見交換が行われました。

総会後の懇親会は約15名の参加となりました。

会場をご提供いただきました九州工業大学、共催の九州工業大学情報教育支援士会とICT活用教育研究会に御礼申し上げます。

日本情報科教育学会九州・中国・四国支部2011年度第2回研究会

日時：平成24年3月20日（祝） 14:00～17:20

場所：九州工業大学飯塚キャンパス

主催：日本情報科教育学会 九州・中国・四国支部

共催：九州工業大学情報教育支援士会、ICT活用教育研究会

プログラム

14:00～論文発表

石田典雅先生（情報教育支援士会）

「フィリピン情報教育支援に係わる現地調査報告」

山下裕司先生（山口県立岩国高校）

「アルゴリズムの指導事例」

尋木信一先生（有明高専）

「ICTを活用した教材開発」

豊瀬仁須先生（田川中学校・ICT活用教育研究会）

「インターネット検索とワープロソフトの活用による書く能力を高める国語科指導」

～自分流 枕草子の作成～

15:30～

講演1 佐藤万寿美先生（近畿北陸支部副支部長；西宮今津高校）

「共通教科情報「社会と情報」「情報の科学」」

～平成25年全面実施にむけて中学校技術との接続を考える～

「教科情報におけるプログラム言語学習のためのe-Learning教材の作成と活用」

～高大連携と個別学習による「情報の科学」の授業へのアプローチ～

15:50～

講演2 高橋誠先生（NHNJapan株式会社取締役付政策担当）

「青少年が利用するコミュニティサイトの問題と解決方法」

16:50～ 事務局連絡（支部SNS運用について）

18:00～懇親会



近畿・北陸支部 2011年度総会

日時：平成24年3月25日(日)
場所：関西学院大学大阪梅田キャンパス1405教室
共催：IEC（情報倫理教育研究グループ）
後援：日本情報科教育学会
協賛：情報教育学（IEC）研究会
13:15-13:45 総会
13:45-14:45 基調講演「知的財産権の教育について」
講師 田中 規久雄（大阪大学）
15:00-17:00 パネルディスカッション「情報倫理教育－実践例と授業の進め方－」



パネリスト

佐藤万寿美（兵庫県立西宮今津高校教諭）、山室 公司（大阪府立摂津高等学校教諭）
阿濱 茂樹（山口大学教育学部大学院担当准教授）
司会 鹿野 利春（石川県立金沢二水高等学校教諭）

近畿・北陸支部総会は、関西学院大学梅田キャンパスで開催された。梅田駅から程近いアプローチタワーの14階にある素晴らしい施設であった。

当日は、午前中に拡大理事会が開かれ、平成23年度事業・決算報告及び平成24年度事業・予算の審議が行われ、午後に行われた総会で、これらが了承された。

基調講演の田中先生（大阪大学）は親しみやすくわかりやすい口調で、知的財産権教育についてお話いただいた。国民の知的財産権意識の向上や創造性教育の必要性が納得できる内容であった。

パネルディスカッションについて佐藤先生は、学習指導要領に結びつけた豊富な実例を含む内容を、阿濱先生は大学での教育の実践で一步踏み込んだ評価の方法として評価項目をたくさん作り、ポートフォリオを作ることを紹介された。山室先生には情報倫理教育に映像制作を取り入れる斬新な授業形態を紹介いただいた。北海道大学の村田先生、滋賀大学の松原先生、千里金蘭大学の高橋先生など、会場からも活発に意見が出され、かなり深い議論がなされた。会場を準備いただいた関西学院大学の中條先生に感謝したい。なお、当日の参加者は約25名であり、夜は有志が協賛のIEC主催の記念パーティーに合流した。

事務局からの連絡

1) 2012年度総会のご案内

日本情報科教育学会の総会を信州大学で行います。ご参加をお願いします。

場所：信州大学・長野工学キャンパス 日時：2012年6月16日（土）13:10～13:50

2) 5周年入会キャンペーン

2012年度に本学会は創立5周年を迎えます。現在、入会キャンペーンを行っています。

入会金無料ですので、お知り合いの方など、会員となっただけの方をご紹介ください。

日本情報科教育学会ニューズレター No. 14 2012年06月13日

発行所 日本情報科教育学会事務局 <http://jaeis.org/>

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2（新陽ビル7階）

TEL：03-5155-7576 FAX：03-5155-7578 E-mail jimu@jaeis.org

発行責任者 広報委員会

委員長：西端律子（畿央大学）

委員：池田勇（嘉麻市教育センター）、鹿野利春（石川県立金沢二水高等学校）、高橋朋子（武庫川女子大学）、竹中章勝（清教学園中・高等学校）、天良和男（東京都立日比谷高等学校）、中西渉（名古屋高等学校）、西田知博（大阪学院大学）、野牧賢志（日本大学）、森本康彦（東京学芸大学）